

# 母塾

2021・4・20

VOI-55

Illustrated by Kurumi



『 乗れるようになるまで 手を離さないで 』 いのはなはるこ

ご入園・ご進級おめでとうございます。  
子どもたちは、新しい物に次々と出会っていますね。

6番目のロクは小学校に入学しました。  
緊張しているのか、毎日澄ました顔で通学路を歩いていきます。  
集団登校の集合場所まで私と手をつないでいても、  
みんなが見えると、スッと手を離して歩きます。  
いつまで手をつないで歩けるでしょうか。

新しい場所に行った時の戸惑いは大人でも感じます。  
初めてのアルバイト先、毎回「絶対に無理。こんな仕事出来っこない。」と  
絶望して帰ってきました。「知っているひともいないし。」と。  
当たり前ですが、全員、初めは「新人」です。  
年齢とは関係なく、初めての場所では戸惑います。  
その戸惑いは「居場所がまだ決まらない」ことです。  
仕事や遊び通じて周りの人たちと関わっていくと、だんだん居場所ができます。  
居場所ができるまでの間が不安定なのです。  
自転車の乗り方を覚えるのと同じです。  
「こんなの絶対無理。」が乗れるようになるとスイスイと動き出します。  
幼稚園や学校で、居場所ができるまでの間はグラグラするのです。  
そのグラグラの間だけです。ママに甘えたり泣き付いたりするのは当たり前です。

遅まきながら、我が家の新1年生は自転車の練習をしています。  
「絶対絶対、手をはなさないでよ！」とグラグラしながら叫んでいます。  
大丈夫だよ。ずっと手を離さないから。  
すぐにそんなことも忘れてスイスイと乗って行ってしまいくせに。  
年長さんはきっと、門で泣いたことも忘れて、走り回っているでしょうね。

harukoinohana1717@gmail.com